

平成27年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 沖縄島嶼教育コース

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

- 1 次の資料を読み、あとの問に答えなさい。

非公開

非公開

(儀間進「差別の問題について——再び同和教育副読本『人間』をめぐって——」『琉球弧・
沖縄文化の模索』積文堂，1979年，56～60ページ、抜粋・一部改編)

問 文章にある下線部①「構造としてとらえるとき、歴史や状況の違いをこえて本質的には同じなのである。」とはどういうことか。本文を要約したうえで、「本質的に同じ」とする理由を述べなさい。(600字程度)

2 次の資料1～5を読み、あとの問1、問2に答えなさい。

非公開

(『朝日新聞』2012年5月15日付朝刊、「対談 復帰と言わないで」、抜粋・一部改編)

非公開

非公開

(『朝日新聞』2013年4月19日付朝刊、「座談会 15歳と語る沖縄」, 抜粋・一部改編)

非公開

非公開

非公開

(『朝日新聞』2013年2月5日付夕刊, 池澤夏樹「終わり始まり」, 抜粋・一部改編)

非公開

(森谷翠及び西川明美「名護市辺野古の子どもと生活環境」『沖縄子ども白書』, 2010年,
292ページ、抜粋・一部改編)

非公開

(森谷及び西川, 前掲報告, 296~297ページ, 抜粋・一部改編)

非公開

(森谷及び西川，前掲報告，298～299 ページ，抜粋・一部改編)

- 問 1 資料 1 と資料 3 は，差別と基地の押しつけについて，その考え方にどのような違いがあるのかを説明しなさい。(400 字程度)
- 問 2 資料 2 の下線部②の生徒 B の問いかけに対してあなたはどうか答えますか。経済的な利益，環境や生活の影響等をめぐる意見対立を整理したうえで，あなたの答えを書きなさい。(800 字程度)

平成27年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 沖縄島嶼教育コース

出題の意図

沖縄島嶼教育コースは、教育学部生涯教育課程のアドミッション・ポリシーに記されているように、沖縄を中心とした島嶼地域について広い見識と専門知識を持ち、シマおこし・まちづくりを担う人材を育てるために、「生涯教育や社会貢献に興味・関心を持つ人」「人々と共に地域貢献に関わりたい人」を求めている。

そこで本コースの入学試験問題は、第一に、基礎的な一般的力量として、資料の読解力と自分の意見を論述する力を問うことをねらいとしている。

第二に、沖縄・島嶼地域をとりまく文化的・政治的・経済的状況やそこに生起する諸問題の基本的なとらえ方と、それらの問題に対する関心度をはかることを意図している。これは、それらの問題に関する知識の多寡ではなく、資料からその問題をめぐって追究すべき論点は何であるかを抽出し、その論点についての自分自身の判断を整理して論述できるかどうかを問うものである。